

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部①の違いを書いた次の表に、解答欄の指示に従って本文中から適当な言葉を抜き出して入れましょう。

|       | 悩み                    | 問い                                                                                             |  |  |  |  |  |  |
|-------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 誰のもの  | 個人化されやすい              | 6文字<br><table><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> |  |  |  |  |  |  |
|       |                       |                                                                                                |  |  |  |  |  |  |
|       |                       |                                                                                                |  |  |  |  |  |  |
| 解決策   | 解決に向かわなければならぬ<br>気になる | すぐに<br><table><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> は思いつかない                             |  |  |  |  |  |  |
|       |                       |                                                                                                |  |  |  |  |  |  |
| 人との関係 | きいてもらうひと、きいてあげるひとになる。 | ひとは<br><table><tr><td></td><td></td></tr></table> になる。                                         |  |  |  |  |  |  |
|       |                       |                                                                                                |  |  |  |  |  |  |



集まったひとびとの問いをきき、ともに考える。そんな対話の場は哲学対話と呼ばれ、全国各地でつづけている。

ひとの問いは面白い。問いをきくと、はじめて会ったひとなのに、なんだかもうずっと前から知っているような気さえしてしまう。

「生きづらいつてもそもそもういうこと?」「面白かったものがつまらなくなるのはなぜ?」「なんでいびきって聞かれると恥ずかしいの?」

問いが生まれる背景もきくと、もつとそのひとの生活が見えてくる。

① 問いは悩みとは違う。とても似ているが、やっぱり違う。なぜだろう。

悩みは個人化されやすい。悩みとは、そのひとが持っているものだからだ。それに、どこか解決に向かわなければいけない気もしてしまう。悩みを誰かに話したとして、きいてもらうひとと、きいてあげるひとという構図にもなりやすい。

一方で問いは、一度その場に出してしまうと、みんなのものになる。

## わからなさの前で、ひとは対等に



なる。問いはしぶとく、ややこしい。すぐに解決策は思い浮かず、むしろわかっていったつもりが、わかっていなくなってしまう。問いの答えはすぐには見つからない。だからともに考える意味がある。問いの前で、ひとは対等になる。わからなさの前で、あらそっている場合ではないからだ。

問いはそのひとのものだ。そのひとの生の中で、時に煮えたり、時に重さを持ち、時にまたたいている、とりかえのきかないものだ。だが同時に、それはみんなをつなぐものでもある。

「わたしは子どもを育てているって言うんでしょうか」。

あるひとが教えてくれる。「ご飯は食べさせているんです。でも、育児をしているって何をしていることなんだろう」。彼女の言葉はまさに問いだった。子育てをしていようが、したことがなろうが、誰もがわからない、わかち合ってしまう問いだ。

問いには共感する必要はない。そこは重要ではない。それよりも、そのひとのわからなさを、ともに持ってしまうような感覚と言ったほうが近いかもしれない。まるで同じご飯を食べてしまうみたいだ。味わい方も好き嫌いも異なる。でも、<sup>②</sup>同じご飯を食べているのだ。

(作家、哲学者・永井玲衣、イラストはk o j i)



ながい・れい 1991年東京都生まれ。2024年「水中の哲学者たち」で「わたくし、つまりNobody賞」を受賞。他の著書に「さみしくてごめん」など。

2 傍線部②とは、どんな「感じ」をたえていますか。本文中から26字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

|  |  |  |   |  |  |  |
|--|--|--|---|--|--|--|
|  |  |  | ～ |  |  |  |
|--|--|--|---|--|--|--|

# NIEワークシートのこたえ（2025年10月17日公開）

## ◆ワークシート「問いと悩み(国語)」 2025.10.16付 夕刊 3面 解答

1

|       | 悩み                    | 問い                                                                                                   |   |   |   |   |   |   |
|-------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 誰のもの  | 個人化されやすい              | 6文字<br><table><tr><td>み</td><td>ん</td><td>な</td></tr><tr><td>の</td><td>も</td><td>の</td></tr></table> | み | ん | な | の | も | の |
| み     | ん                     | な                                                                                                    |   |   |   |   |   |   |
| の     | も                     | の                                                                                                    |   |   |   |   |   |   |
| 解決策   | 解決に向かわなければならぬ<br>気になる | すぐに<br><table><tr><td>解</td><td>決</td><td>策</td></tr></table> は思<br>いつかない                            | 解 | 決 | 策 |   |   |   |
| 解     | 決                     | 策                                                                                                    |   |   |   |   |   |   |
| 人との関係 | きいてもらうひと、きいてあげるひとになる。 | ひとは<br><table><tr><td>対</td><td>等</td></tr></table> になる。                                             | 対 | 等 |   |   |   |   |
| 対     | 等                     |                                                                                                      |   |   |   |   |   |   |

2 そのひ～な感覚